

1	審議会名	真田地域協議会
2	日 時	平成28年11月15日(火) 午後7時00分から午後9時00分まで
3	会 場	真田地域自治センター3階 301会議室
4	出席者	荒木仁子委員、一之瀬勤委員、大久保吉志委員、佐藤政彦委員、高寺由美子委員 竹村尚美委員、土屋實委員、長崎理恵子委員、西牧真吾委員、西牧裕美委員、 本田寿子委員、松井よし枝委員、松本規男委員、丸山恵子委員、宮下俊哉委員 宮島国彦委員、山崎隆喜委員 【欠席委員】3名
5	市側出席者	岩倉センター長、山宮地域振興課長、大塚市民サービス課長 塚田産業観光課長、大熊建設課長、矢嶋上下水道課長、清水教育事務所長 柳沢真田消防署長、伊藤主査、春原主任
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成28年12月15日
協 議 事 項 等		
1	開 会	(宮島副会長)
2	会長あいさつ	(宮下会長) 先週は消費生活展が開催され、多くの地域の方々で賑わったとお聞きしております。11月も各団体の皆さんにおかれましてはイベントも多く、お忙しいことと思います。これから寒くなってくる季節ですが、御自愛いただきますようお願いいたします。本日は分科会協議が中心となります。よろしくお願いいたします。
3	センター長あいさつ	(岩倉センター長) 昨日、午後12時40分に国道144号線の旧本原医院付近で、乗用車と大型ダンプカーによる正面衝突事故が発生しました。上田に向かっている乗用車がセンターラインを越えてダンプカーにぶつかったようです。乗用車は、くの字に折れ曲がり、凄まじい状況であったそうです。女性の方は、救助されドクターヘリコプターで佐久方面の病院に搬送されたようです。テレビでも悲惨な交通事故のニュースが毎日のように報道されております。他人事とは思わずに余裕やゆとりを持って安全運転に心掛けていただきますようお願いいたします。本日は、前回に引き続きまして、分科会の御協議をお願いするとともに、菅平高原における振興施設の建設について御説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。
4	協議事項	(宮下会長) (1) 3月開催予定の第12回地域協議会の開催日程について ～事務局から説明～ 【質疑応答】 ・なし 【決定事項】 ・第12回地域協議会の開催日時は平成29年3月21日(火曜日)午後2時からとする (2) 分科会協議 (会長) これより分科会協議に入りますが、全体会の途中で分科会協議の時間を設けます。8時45分頃を目途にもう一度この場にお集まりいただき、それぞれの分科会でどのような協議がされたのか、報告をいただく時間を設けます。分科会協議の前に「5報告事項」を先に進めさせていただきます。

5 報告事項（宮島副会長）

（1）菅平地区振興施設について

～山宮地域振興課長から説明～

～塚田産業観光課長から説明～

【質疑応答】

（会長）事業費が概算で 10 億円となっているが、地域振興事業基金はどのくらいの充当額を予定しているのでしょうか。また、充当額が示される時期はいつごろになるのでしょうか。

（塚田産業観光課長）現在、建築本体工事の実施設計を組んでおり、来年、入札となります。建築本体と並行しまして、平成 29 年度に入り、外構工事の設計と発注になります。それから、備品等につきましても、来年 7 月頃発表されるガイドラインの中で、トレーニングジムに要する備品について、より詳しいものが示される予定でございますので、それらを踏まえていきますと、来年、平成 30 年度の予算編成時、来年の今頃になりますが、全体の確定した事業費が見込めます。その際には、辺地債等の充当額が見込める状況になると思われまますので、どのくらいの地域振興事業基金をお願いするのかをお示しできるかと思ひます。その頃を目途にしておりますので、御理解をお願いいたします。

（会長）どのくらいの充当額になるのか、できるだけ早く示していただきたいと思ひます。迅速に基金を活用できればと思ひますので、皆様の御協力をお願いしたいと思ひます。基金の活用については、主に備品等に係るものになるのでしょうか。

（塚田産業観光課長）主な財源としては辺地債を見込んでおりますが、全体事業費を見込む中で、備品類、外構工事など、辺地債を充当できない箇所には一般財源という形になってまいりますので、一般財源の額がはっきりしたところで、お示しできるものと思ひしておりますので御理解をお願いしたいと思ひます。今後、具体的な内容を詰める中で、はっきりさせていきたいと思ひますので、よろしくお祈りいたします。

（委員）金額が大きいのと、一般財源だけを使うことはできないのでしょうか。

（塚田産業観光課長）起債、有利な助成金や補助金等、使えるものはできるだけお祈りしたいと思ひておりますが、どうしても対象にならない部分に関しては、一般財源を導入せざるを得ないという部分も出てくるかと思ひます。その部分は一般財源をお願いして参りたいと思ひております。一般財源を使いたいという話になりますと、真田地域の一番の振興施設になりますので、地域振興事業基金についても、協議会の皆さんの御理解をお願いして、どれくらいかを御提供いただきたいという話が出てくると考えております。皆様の御理解を頂く中で、充当していきたいと考えております。

（委員）最終的に、基金は使うようになりますか。

（塚田産業観光課長）はい。このような事業になりますと、全部を補助金で賄うのは難しいので、一般財源を活用してくようになると思われまます。

6 その他（宮島副会長）

（1）次回協議会開催日時の確認

今回は、平成 28 年 12 月 13 日（火）午後 7 時からとなります。

（2）その他

・宮下会長から、「真田地区三校合同 P T A 講演会」と「さとのわマルシェ」について説明

～分科会協議 8 時 45 分まで～

7 各分科会から協議状況の報告（宮島副会長）

（第1分科会長 一之瀬委員）前回に引き続きまして、現状はどうかについて話し合いを行いました。自治会単位のコミュニティという中では、小さい部落で役員を選出が難しくなってきたり、活動が縮小している部落がある。また、大きい自治会は、人が多すぎて役員が決められないという悩みを持っているところもあると聞きました。

長寿会は、いろいろな地区でやっていて、地区内の活動はいいが、広域で役員を出すとなった時に、役員を出せなくて広域の組織から抜けていくという話がでました。役員が大変だというところが、いろいろな所でポイントになっているようです。

人口減少によって、地区内の伍長会の合併という動きがあり、合併するといろいろな問題が起きて、うまく回らないというところもあるようです。

知られてはいないが、一部活発なコミュニティ活動やグループ活動をやっているところはあるけれども、情報として発信をしていないので、認知されていないという現状もあるようです。

私ごとになりますが、私は、大日向でそば活性化組合をやっておりまして、11月27日（日）にそば祭りを開催します。今年で10年目になります。コミュニティ活動の一環で行っておりますので、顔を出していただければ参考になるかと思えます。

コミュニティ活動を活発にするためには、まとめ役や先頭に立つ人がポイントである。だけれども、埋もれてしまっていて出てこない。それと、コミュニティ活動の場所がない。先日、新聞に横尾のNPO法人の活動が出ておりましたが、空き家を使ったコミュニティ活動というものいいのだが、空き家があっても貸してもらえないということもある。全体的にこのような情報交換を行いました。

（第2分科会長 西牧真吾委員）公共交通機関の存続と今後の在り方というテーマに基づき、話し合いを進めてまいりました。本日は、上田市地域公共交通網形成計画（案）について説明を受けました。少しボリュームのある資料でしたので、一通りの御説明はいただいたのですが、その中で出せる範囲の質問事項に御回答いただきました。次回は、上田市の交通政策課の担当者の方に再度来ていただき、今日いただいた資料について、再度説明を受ける運びになっております。事前に各委員で目を通しながら、質問事項を事務局へ伝達をして、次回は進めていきたいと思っております。また、現状把握ということで、住民の皆さんを対象に公共交通の在り方の率直な意見を聞くためのアンケートを実施したらどうか、また、まちづくりに絡めた交通体系に詳しい方のお話も聞けたらという話がでました。各地域の自主運行バスの状況の話も聞けたらという話がでしております。

（第3分科会長 松本委員）食について話し合いを行いました。各委員から、各講演会やシンポジウムで見聞きしてきた内容を発表していただきました。その中から、将来的に食に対して一般の消費者が厳しくなってくるのではないかとということを見越して、人がやっていないこと、例えば、東京オリンピックに向けてオーガニックを使うとか、まだ表に出ていないところを重点的に取り組んだらいいのではないかと意見が出ました。また、農業関係者の皆さんが、収入が得られて、やる気になっていただけようにはどうしたらいいのか、それを食に結び付けるにはどうしたらいいのかについて意見を出し合いました。今後は、私たちだけで話をしてではなくて、農業の従事者の方をお呼びしてシンポジウムの中から、農業者がいいヒントが得られて、農業法人を作っていくぐらいの方が出てくれればいいなという話がでました。

7 閉会（宮島副会長）